

# インドが誇る9つの世界遺産へ!



2回の国内線利用で西から北への一筆書きでめぐる

**ツアーのポイント**

- 新規就航のエア・インディア 羽田～ムンバイ線を利用! ムンバイIN・デリーOUTの一筆書き行程で、一度に西インドとゴールデントライアングルの世界遺産めぐり
- 9つの世界遺産に加え、映画のロケ地としても有名な深さ30mの「チャンドパオリ(アパネリ)の階段井戸」へ

エコノミークラス利用	ビジネスクラス利用 (羽田～ムンバイ/デリー～羽田間)	出発日/旅行代金 (2名1室おひとり) ※□印は問い合わせ多数
コース番号 Y8878-M46	コース番号 Y8879-M46	10月27日
300,000円	630,000円	※□印は問い合わせ多数
320,000円	650,000円	2027年1月12日、3月23日

1人部屋追加料金:70,000円(シングルルーム利用) ※Y8878・Y8879は共同催行となります

燃油サーチャージ(目安30,400円～40,400円:基準日/4月24日)は旅行代金に含まれておりません。別途必要となります。※燃油サーチャージ額は4月24日時点での情報であり、今後原油価格、為替の変動に伴い変更される可能性があります。※国内空港施設使用料、旅客保安サービス料、海外空港税、国際観光旅客税、査証実費及び手数料が別途必要となります。※詳しくは契約書面でご確認ください。

※日本から添乗員は同行しません。現地日本語ガイドがご案内します。

コース番号 **Y8878・9-M46** (バス1台名限定) **19** (バス1台名限定) **クラブ・PASS** (限定割引)

往復エア・インディア直行便利用(羽田～ムンバイ/デリー～羽田間)

2026年6月新規就航の羽田～ムンバイ線利用で実現!  
ムンバイIN・デリーOUTの一筆書き行程

## 9つの世界遺産へ 西北インド 8日間

※印は入場観光 ○印は下車観光 △印は車窓観光

- 1 羽田発(8:20～9:20)→空路、直行便にて西インドのムンバイへ。(13:50～14:50)着後、ホテルへ 機内(ムンバイ泊)
- 2 (午前)船に乗って**世界遺産エレファンタ島石窟群**へ。インド門へ 2連泊  
(午後)オーランガバードへ 朝昼夕(オーランガバード泊)
- 3 (午前)世界遺産**アジャンタ石窟寺院** (午後)ショッピングモールへご案内 朝昼夕(オーランガバード泊)
- 4 (午前)世界遺産**エローラ石窟群** (午後)ビービーカマクワラ、パンチャッキ (夕刻)→空路、デリーへ 朝昼夕(デリー泊)
- 5 (午前)アグラへ (午後)アグラ観光(世界遺産**タージ・マハル** (120分滞在)、宮殿 **世界遺産アグラ城**)。宮殿ホテルのあるバトプールへ 朝昼夕(バトプール泊) ホテル泊
- 6 (午前)ジャイプールへ、途中チャンドパオリ(アパネリ)の階段井戸 (午後)ジャイプール **世界遺産アンベル城**、**世界遺産ジャタル・マンタル天文台**、風の宮殿、シティアパレス (夕刻)民族舞踊を見ながらのご夕食 朝昼夕(ジャイプール泊)
- 7 (朝)→空路、デリーへ (午後)デリー観光(世界遺産**クトゥブ・ミナール**、**世界遺産フマユーン廟**) (18:20～20:40)→空路、直行便にて帰国の途へ 弁屋機(機内泊)
- 8 羽田着(5:25～8:25)。通関手続き後、解散となります 機

**HOTEL** 4都市でデラックスクラスホテル宿泊  
5日目バトプールでは宮殿ホテルに宿泊

※ホテルクラスは弊社基準 **ラクシュミー・ピラス・パレス 指定**

外観

※ツアーディレクター(添乗員)なし(インド内は現地日本語ガイドがご案内) ■最少催行人員10名 ■利用予定航空会社/エア・インディア(Y8878:エコノミークラス利用/Y8879:ビジネスクラス利用、羽田～ムンバイ/デリー～羽田間) ■利用予定ホテル/ロイヤルオーキッド(ムンバイ:DX)、アジャンタ・アンバサダー(オーランガバード:SP)、ハイアット・セントリック・ジャナクプーリ・ニューデリー(デリー:DX)、サロバル・ゴルティコ(ジャイプール:DX)または各都市同等クラス以上、ラクシュミー・ピラス・パレス(バトプール:DX) [指定] ■相部屋/不可 ■3人部屋、不可 ■子供旅行代金(2～11歳)/大人旅行代金と同額

※行程中に最大4カ所の土産物店へご案内します。これは物品の購入を強制するものではなく、ご案内できない場合も変更補償金の対象とはなりません。



コース番号 **Y8641・2-M46** (バス1台名限定) **19** (バス1台名限定) **クラブ・PASS** (限定割引)

おひとり参加限定 ANA利用(羽田～デリー間) 添乗員同行

## 聖地ブッタガヤ・ペナレス・タージマハルをめぐる 新!自分探しのインドひとり旅 7日間

五感で感じるインドの聖地

聖地ブッタガヤ 大菩提寺

ツアー貸切ポートに乗って 沐浴見学と灯籠流し体験も

聖地ペナレス

※1)ガンジス河のポートは安全上の理由及び気象状況により運航中止となる場合があります。

弊社スタッフ:坂本「タージ・マハル観光にて」2025年11月

2026年リニューアル! 7つの「自分探し」ポイントにこだわりました

- 1 仏跡ツアー同行歴10年以上のガイドが同行
- 2 デリーのシャンティ・ストウパーにて座禅体験
- 3 ツアー中に1回のインド風精進料理を提供
- 4 僧侶からの説法体験を1回から2回に増やしてご案内 大菩提寺とムルガンドゥックティ寺院で1回ずつ(日本語ガイドが僧侶の言葉を翻訳して、説明します)
- 5 ブッタガヤでは日本寺から徒歩400m圏内のホテルにご宿泊
- 6 ガンジス河の沐浴風景見学に加え、灯籠流し体験も
- 7 北インドに来たら欠かせないタージ・マハル観光はサリーもしくはクルタを着用して観光♪

インド方面の企画担当者4名で考えました

エコノミークラス利用	ビジネスクラス利用 (羽田～デリー間)	出発日/旅行代金(1名1室) ※Y8641・Y8642は共同催行となります。
コース番号 Y8641-M46	コース番号 Y8642-M46	11月27日、2027年1月2日、3月9日
398,000円	618,000円	2027年2月9日
408,000円	628,000円	2027年2月9日

1人部屋追加料金は旅行代金に含まれております。

燃油サーチャージ(目安75,200円～85,200円:基準日/4月24日)は旅行代金に含まれておりません。別途必要となります。※燃油サーチャージ額は4月24日時点での情報であり、今後原油価格、為替の変動に伴い変更される可能性があります。※国内空港施設使用料、旅客保安サービス料、海外空港税、国際観光旅客税、査証実費及び手数料が別途必要となります。※詳しくは契約書面でご確認ください。

※印は入場観光 ○印は下車観光 △印は車窓観光

- 1 羽田発(10:05～11:40)→空路、ANAにてデリーへ(16:00～17:55)着後、ホテルへ 機内(デリー泊)
- 2 (午前)デリー観光(シャンティ・ストウパー) (午後)→空路、国内線にてガヤへ。朝御着が惜り開いた地、ブッタガヤ観光へ。世界遺産**大菩提寺** 朝昼夕(ブッタガヤ泊)
- 3 (朝)ブッタガヤ観光(日本寺、スジャータ村)ラジギールへ。ラジギール観光(ブッタガヤ説法したとされる靈鷲山、ピンビサーラ王の牢獄) (トナへ) 途中、世界遺産**ナランダ仏教大学跡** 朝昼夕(バトナ泊)
- 4 (朝)ペナレスへ (午後)ブッタガヤ初めて説法をした初転法輪の地サールナート観光(ダメーク・ストウパー、ムルガンドゥックティ寺院) 朝昼夕(ペナレス泊)
- 5 (早朝)ポート(※1)に乗りガンジス河の沐浴風景を見学、ヒンズー教の寺院へ続く迷路のような巡礼道へご案内 (午後)→国内線にてデリーまたはデリー郊外のヒンドンへ 着後、アグラへ 朝昼夕(アグラ泊)
- 6 (朝)アグラ観光(民族衣装を着用して世界遺産**タージ・マハル**、**世界遺産アグラ城**)→デリーへ (17:30～19:25)→空路、ANAにて帰国の途へ 朝昼機(機内泊)
- 7 羽田着(5:05～6:25)。通関手続き後、解散となります 機

**HOTEL** 5都市中4都市はデラックスクラスホテル(※弊社基準)に宿泊  
ブッタガヤでは日本寺から徒歩400m圏内のホテルに宿泊

※ツアーディレクター(添乗員)同行 ■最少催行人員10名 ■利用予定航空会社/ANA(Y8641:エコノミークラス、Y8642:ビジネスクラス※羽田～デリー間) インドの国内線はインドの航空会社エコノミークラス利用 ■利用予定ホテル/ハイアット・セントリック・ジャナクプーリ・ニューデリー(デリー:DX)、スジャータ(ブッタガヤ:SP)、バトリプラ・コンチネンタル(バトナ:DX)、リバイタス・バイ・アムデル(ペナレス:DX)、グランドメルキュール(アグラ:DX)または各都市同等クラス ■相部屋/不可 ■3人部屋/不可 (※1)ガンジス河のポートは安全上の理由及び気象状況により運航中止となる場合があります※行程中に最大4カ所の土産物店へご案内します。これは物品の購入を強制するものではなく、ご案内できない場合も変更補償金の対象とはなりません。



※コース番号Y8672・3、Y8643・4は、当カタログからのお電話による直接のお申し込みを受け付けておりません。※詳しくは当社ホームページに案内しております。国内空港施設使用料、旅客保安サービス料、海外空港税、国際観光旅客税、予約・発

※写真は全てイメージです。